

平標山

外島 正明

■山行年月日:平成 30 年 7 月 1 日

■メンバー:栗田光基 須藤信

外島夫妻

喜多方の岳友、真鍋守夫さんが平標山で亡くなって3年がたつ。慰霊登山に行かなければ、と心にとめていたがやっと実現した。私は谷川の岩登りに行ったぐらいで、全く未知の山域である。

会津大の駐車場に集合。栗ちゃんの車で5時出発。磐越道、関越と走り越後川口PAで運転交代。平標山登山口の駐車場には8時過ぎに着いた。さすが人気の山、多くの車があった。今日の快晴を約束するような空の下、8時40分出発。さすが栗ちゃん、ザックの脇には切り花があった。松手山への登りは最初から急登、階段が多くあり整備が行き届いていた。途中の電線の鉄塔まで一汗二汗もかかされた。休憩していると遠く真っ平らな山、あの山はどこだろうと調べると苗場山と分かった。名まえの聞いた事のある山々を見つけて嬉しくなってきた。急登と階段にあえぎあえぎ、1時間30分で松手山へ着いた。平標山が目の前にドーンとそびえていた。周りは子供から若い人、多くの人が休憩している。山も一時より若い人が多くなった。やはりブームなのかな。

平標山へ向けて腰を上げる。尾根は広く展望もよく気持ちがよい。足元にはオノエランの白い花が咲いている。しかし花の咲く時期が合わなかったのか、期待

したほど咲いていなかった。予定より少し遅れて11時50分頃山頂へ着いた。仙ノ倉山への道がたおやかに伸びている。往復2時間位かかるので今回は諦めることにした。山頂は大勢の人がいるので、小屋の方面に少し下がった所にあった休憩所で昼食にしよう。周りは草原、登山道は幅が広い階段になって小屋へ下がっている。自然保護の為とは言え、すごい力の入れようにやはりメジャーな山だなーと感じられた。気持ちの良い昼食を終え、平標山の家には13時に着いた。さっそく栗ちゃん持参の花と線香を山頂方角に向け、真鍋さんを思い出し祈った。今山行の大きな目的を終え、平標山に別れを告げて下山路へと足を向ける。林道へ向け沢を下っていく、ここでも階段が完備している。意外な速さで林道に着いたが、ここから林道歩きが長かった。車に到着、15時20分。駐車場でもらった割引券で温泉に入り若松へ帰った。

